

血糖管理に関わる諸周辺因子の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年12月9日～2025年3月31日

〔研究課題〕

血糖管理に関わる諸周辺因子の検討

〔研究目的〕

糖尿病治療には食事や運動などの生活習慣、薬物療法では確実な服薬習慣、安全な自己注射管理、低血糖や体調不良時の対処など様々な要素が大切となってきます。医療スタッフ側がこれらについて指導していくことの重要性を明らかにするため、当院の診療記録を検索し、服薬遵守度の影響（継続しにくい副作用の有無・程度や、薬を合剤や週1回内服へ変更し内服し易くすることの効果など）や、自己注射の確実度（正しい注射部位の選択など）、患者様の高齢化による糖尿病治療への影響を調べることにしました。

〔研究意義〕

本研究により、糖尿病治療に大きく影響する因子が明らかとなれば、その点を重点的に配慮した治療・療養指導を行うことで、糖尿病患者・皆様へのより良い治療に結びつけることができると考えています。

〔対象・研究方法〕

2014年4月1日から2022年12月31日までの間に、帝京大学医学部附属病院内科に外来受診ないしは入院した糖尿病の患者様を対象に、カルテ記録を調べます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院内科

〔個人情報の取り扱い〕

研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報は全て削除し、プライバシーは守られます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 盛田 幸司 職名 病院教授

所属：内科学講座

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 7164〕